

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

## 事業名 農業機械整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 総務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail：c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,140 千円 (前年度予算額： 1,249 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,249	0	0	0	0	0	0	0	1,249
要求額	7,140	0	0	0	0	0	0	0	7,140
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

学生のプロジェクト学習、農場管理に使用する農業機械が老朽化しているため、物品の更新を行う。

## (2) 事業内容

## ① 温風暖房機の更新

野菜専攻では施設野菜栽培を行っており、晩秋から早春期の加温のための暖房機は必須である。

4号ハウスで使用する温風暖房機は、10月から5月にかけて、自動温度設定により夜間にハウス内の温度が低下すると暖房が作動するようにしているが、設定温度になっても継続的に「不着火」が発生し、夜間のハウス内の適正な温度管理ができず栽培が思うように進まないなどの不具合が発生していることから更新を行う。

温風暖房機 1台 821千円

現行機種：ネポン株式会社 KA-323T

## ② フルトレーラー牽引用トラクターの更新

農業大学校では、けん引自動車免許（農耕車限定）を取得する機会を与えるとともに農業機械の構造・機能・取扱並びに効率的な利用について知識及び技能を修得する農業機械研修を実施している。

現在、所有する牽引用トラクターは平成10年購入のもので、老朽化が著しく原因不明の不調により修繕が困難となっている。昨年のけん引自動車免許の運転免許試験場で整備不良の嚴重注意も受けており、被牽引車両を安全に牽引し研修や作業を行うことが困難となっているため早急に更新が必要である。

牽引用トラクター 1台 6,319千円

(3) 県負担・補助率の考え方  
県10/10

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	7,140	温風暖房機、フルトレーラー牽引用トラクター
合計	7,140	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
  - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
    - (3) 農林畜水産業の活性化
      - ①農林畜水産業を支える人材の育成・確保
- ・ぎふ農業・農村基本計画
  - 第6章1-(1)-② 産地の実情に応じた多様な担い手の育成・確保
    - ・多様な人材の活躍 農業大学校の環境整備やカリキュラムの充実

(2) 国・他県の状況

- ・岐阜県を含む42道府県が農業大学校を設置

(3) 後年度の財政負担

維持管理経費は既定予算内で対応

(4) 事業主体及びその妥当性

県の施設において実習に使用する農業機械であり妥当

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農業大学校における新たなカリキュラムの実施等を通じ自家就農・雇用就農で新たな担い手を目指す学生の増加を図り、ひいては県の新規就農者の育成確保に資する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R7)	
					達成率	
①入学者数	27人	26人	28人	30人	30人	93%
②卒業者数	25人 (R1)	27人 (R2)	25人 (R3)	30人 (R4)	30人 (R6)	83%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 農業改良助長法に基づき、新規就農者の育成・農業技術者の育成に向け、教育計画に基づく講義や農業実習等の実践教育を実施した。 なお、卒業生27人は、県内に13人が就農し、農業団体、農業系企業に9人が就職した。（県外への就農就職等は5人）</p> <p>指標② 目標： 30人 実績： 27人 達成率： <u>90</u> %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 農業改良助長法に基づき、新規就農者の育成・農業技術者の育成に向け、教育計画に基づく講義や農業実習等の実践教育を実施した。 なお、卒業生25人は、県内に15人が就農し、農業団体、農業系企業に1人が就職した。（県外への就農就職等は9人）</p> <p>指標② 目標： 30人 実績： 25人 達成率： <u>83</u> %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	農業大学校の古い施設や設備を整備していくことで、円滑に学校運営を進めることができる。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	老朽化施設を整備することで、学生のプロジェクト研究をより効果的、効率的に実施することができ、一定の成果が認められる。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	施設整備の優先度、有効性について施設ごとに検討し、計画的に整備を進めている。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 (課題)明日の岐阜県農業を担う農業者を育成するため入学者の確保及び就農に向けた取り組みの一層の強化。 (改善が必要な事項)学生に安全かつ快適な環境の中で、知識と技術を習得させるため、施設・設備の計画的な再整備が必要。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 入学者の確保のため農業高校等を訪問し、教育方針及び卒業生の進路情報を提供し、農業大学校への学生募集の推進を引き続き行う。 また、多様な就農者の確保に向け、市町村、農林事務所、農業士会、農業団体等との連携を強化し、新規就農希望者の受け入れ支援体制整備を図る。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
-----------------------

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul>
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

	<ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>
(評価)	
	<ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul>
(評価)	
	<ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li></ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li></ul>
---